

国語科（現代文B）学習指導案

指導者 ○○○○

- 1 履修単位数 3単位
 2 実施日時 令和 年 月 日（ ） 第 時限
 3 学 級 ○○HR（○○名）
 4 使用教科書 新編 現代文B 改訂版（大修館書店）
 5 単元（題材）名 文章を読んで、人物、情景、心情を的確に捉える（『こころ』夏目漱石）
 6 単元設定の理由

本校では、国語総合を2年に渡り学習した後、3年次で評論文を中心に学習し、論旨を正確に把握する力を身に付けてきた。1年次に「羅生門」を学習した後、本格的な小説には触れていないが、小説に対する興味・関心が強い生徒は多い。本作品の「こころ」は語彙が難解で文体になじみがなく、すべての高校生にとって容易に読める作品ではないが、作品の中心である「恋愛」は人生においてほとんどの人が体験するであろう営みである。日本の近代文学の代表的な作家である夏目漱石の作品を通して、恋と友情の狭間で揺れ動く登場人物の心情や人間のエゴイズムに触れ、作中人物に共感したり疑念を抱いたりしながら、自らの経験やこれから重ねさせたい。そして、就職や進学を控えた3年生に、これからも文学作品を手に取り小説を読み続けようという意思の基盤を作りたいと考えて設定した。

- 7 単元の目標 領域【読むこと】
- ・文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わおうとする。 (関心・意欲・態度)
 - ・文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。 (読む能力) (内容(1)のイ)
 - ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにする。 (知識・理解) (内容(1)のオ)
- 8 取り上げる言語活動（学習活動）
- 文学的な文章を読んで、登場人物の生き方やその表現の仕方などについて、話し合うこと。 (内容(2)のア)
- 9 単元の評価規準
- A 文章に描かれている人物の心情や情景を的確に捉え、表現に即して読み味わおうとしている。 (関心・意欲・態度)
- B 文章に描かれている人物の心情や情景を的確に捉え、表現に即して読み味わっている。 (読む能力)
- C 語句の意味や用法を正しく理解し、表現上の特色を捉えている。 (知識・理解)
- 10 指導計画

次	学習活動	評価の規準と方法
第1次 4時間	○作者や作品について、時代背景を含めて確認し、文章に描かれた情景、人物を捉える。 ・夏目漱石に関する文学史的な知識、作品の構成について調べる。 ・登場人物について確認し、教科書収録部分に至るまでのあらすじを確認する。 ・難読語の意味を調べる。	評価規準C 「記述の点検」
第2次 3時間	○文章に描かれた情景、人物、心情を読みとる。 ・第1段落を通読し、Kの態度や心理状態を考える。 ・第2段落を通読し、「私」のKへの対応とそれを受け止めるKの内面をたどる。 ・第3段落を通読し、「私」とKとの対決と二人の心理をさぐる。 (本時1/3)	評価規準B 「記述の点検」 「行動の分析」
第3次 3時間	○文章に描かれた情景、人物、心情を読みとる。 ・第4段落を通読し、「私」の心理とKの人物像を把握する。 ・第5段落を通読し、Kの「覚悟」の語に促された「私」の心理と行動をたどる。 ・第6段落を通読し、奥さんとの談判とその後の「私」の心理を把握する。	評価規準B 「記述の点検」 「行動の分析」
	○文章に描かれた人物、心情を読み取る。	

第4次 3時間	<ul style="list-style-type: none"> 第7段落を通読し、結婚が決まってからの「私」の心理の推移とKに対する罪の意識を理解する。 第8段落を通読し、「私」の罪責感とKの態度について考える。 第9段落を通読し、Kの自殺を知った「私」の心理と行動について考える。 	評価規準B 「記述の点検」 「行動の分析」
第5次 1時間	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の振り返り ・学習後の感想文を書く。 	評価規準A 「記述の分析」

1 1 本時の目標と評価規準

Kの現状についてグループで話し合い、意見をまとめ発表する。また、「私」とKの関係を表現に即してとらえ、意見をまとめ発表する。(読む能力)

1 2 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準と実際	評価方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を使って確認する。 		
展開 40分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">1 「私」の人となりを確認する。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・前時にまとめた「私」について、振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">2 「K」の人となりを考える。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・平生のKと平生と異なるKについてグループで話し合い、タブレットでまとめたものを発表する。 ・Kの迷いについてグループで話し合い、発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">3 「私」とKの2人の関係性を考察する。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで、2人の心情を考察し、それぞれの心の声を想像して、ワークシートに記入し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート①で「私」の言動を再確認させる。 ・それぞれがワークシート②に記入したものをグループで確認する。意見をまとめて代表者が MetaMoJi Classroomへ書き込んだものを電子黒板に映し出して発表させる。 ・グループでまとめ代表者が MetaMoJi Classroomへ書き込んだものを電子黒板に映し出す。私とKの役割をグループ内で決め、発表させる。 	<p>「読む能力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前に学習しているKの性格をもとに、本文に即してKの現状について読み深めている。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">Cの生徒への指導の手立て 「彼の平生」「彼の平生と異なる点」がどのようなものか、教科書の本文に傍線を引かせる。</div>	行動の観察
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時への意識付けをさせる。 		

